

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	放置自転車対策事業	コード	01-02-02-01
		担当課・係	市民課・生活安全係
		担当者	芳田 猛
事業実施期間	平成11年～	電話	0869-64-1876
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	自然と共生するまちづくり	
	小項目(施策)	環境美化	

事業について	
目的 (何のために)	公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、環境美化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	公共の場所(公衆用道路等)の環境美化に努める市民
内容	放置自転車等への警告札の取り付け、撤去、保管、処分及び各市営駐輪場管理

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
放置自転車等撤去	103 台	114 台	
放置自転車等処分	64 台	91 台	
引取件数	0 台	7 台	
市管理自転車等駐輪場	19 箇所	20 箇所	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,553	国庫補助金等		直接事業費	729	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,669	受益者負担		人件費	3,601	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,222	一般財源等	3,222	合計	4,330	一般財源等	4,330	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.21 人	0.41 人		
結果指標	結果指標名	放置自転車等撤去台数	放置自転車等撤去台数	
	結果指標量	103	114	
	単位	台	台	
	対前年比	-	110.68%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,698,400 円	2,646,000 円	
単位当たりコスト	16,489 円	23,211 円		
結果指標	結果指標名	市管理自転車等駐輪場	市管理自転車等駐輪場	
	結果指標量	19	20	
	単位	箇所	箇所	
	対前年比	-	105.26%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,523,274 円	1,683,743 円	
単位当たりコスト	80,172 円	84,187 円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	公共の場所における放置自転車等の台数削減		
成果指標名	放置自転車等人口割合	式又は説明	(放置自転車等撤去台数/H18.4.1現在の人口(41,357人) × 100)
	17年度	18年度	
成果指標量	0.25	0.27	
対前年比	-	108.00%	0.00%
到達目標値	0.2	到達目標年度	平成23年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 備前市自転車等放置防止条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値		結果指標量 100
		結果指標量 0.24

総合評価	市民の生活環境の保全を図るため必要な業務であり、割れ窓理論を参考に、撤去・処分を迅速に行い、放置されにくい環境づくりに努める。また、駐輪場付近の放置自転車等は、不要になり廃棄していると考えられることから、関係部署と連携し、適正処理を促していく必要がある。	評価区分 <A~E> B
------	---	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果